

週休2日制モデル工事試行要領

1 目的

建設業は、他の産業界と比べに労働時間が長く、休日が少ないことに加え、高齢化や若手技術者をはじめとする担い手確保等が課題となっている。

働き方改革を推進する観点からも労働環境改善を目的に、週休2日制の普及・実現に向けてモデル工事を試行する。

2 適用範囲

土木工事とする。(営繕工事は除く。)

3 週休2日制の概要

原則、対象工事現場において、週休2日(4週8休)を確保することとする。

このうち、土日完全週休2日を取得した工事については、工事成績評定において、加点を行うこととする。

用語の定義

週休2日 : 対象期間において、4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。

土日完全週休2日 : 4週8休以上の水準を確保し、対象期間内の土曜日と日曜日に、工事現場を閉所し、現場作業を行わないこと。

4週8休 : 土・日に限定せず、工事現場を閉所し、対象期間内の現場閉所日数の割合(以下、現場閉所率という)が28.5%(8日/28日)以上の水準に達する状態をいう。

対象期間 : 工事着手から工事完了までの期間のうち、下記の期間を除いた期間をいう。

- ・年末年始6日間、夏期休暇3日間
- ・工場製作のみの期間
- ・工事事務等による不稼働期間
- ・天災(豪雨、出水、土石流、地震、豪雪等)に対する突発的な対応期間
- ・受注者の責によらず休工・現場作業を余儀なくされる期間
- ・発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間
- ・工事の全体を一時中止している期間
- ・その他、外的要因により現場が不稼働となる期間

現場閉所 : 巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。なお、降雨、降雪等による予定外の現場閉所についても、現場閉所日に含めるものとする。

週休2日の達成 : 4週8休(現場閉所率28.5%以上)であること。

工事着手日 : 工事施工範囲内で何らかの作業に着手した日をいう。

工事完了日 : 工事施工範囲内で全ての作業が完了した日をいう。

4 試行工事

対象工事は、下記（３）に該当する工事を除く全ての工事を対象とし、事業計画に支障の無い範囲で試行するものとする。なお、特記仕様書において対象工事であることを明示することとする。

（１）発注者指定型

発注者が指定した工事

（２）受注者希望型

前号を除く工事で、受注者が工事着手前に発注者に対し週休２日に取り組む旨を協議し、発注者が承諾したうえで取り組む工事

（３）試行対象外工事

- ・ 緊急性が高い災害復旧工事
- ・ 現場施工期間が休工日を含めて７日未満の工事

5 試行工事の手順

（１）発注者指定型の場合

①発注時

（ア）工期の設定

a 作業日当たり標準作業量等による設定

施工数量を日当たり作業量で除し、それらの合計に国・県が定める作業不可能率等乗じ、準備期間及び後片付け期間（下表参考）を加えて、工期を設定する。

余裕期間制度を活用した工事では余裕期間を加える。関係機関との調整等が見込まれる場合は、その期間を加えるなど、各現場の諸条件を考慮し、工期を設定する。

準備日数	後片付け日数	工種区分
30	20	砂防・地すべり等、河川維持、 漁港工事（陸上工事）
40		河川、河川・道路構造物、海岸、道路改良
45		漁港工事（海上工事）
50		舗装（新設）、道路維持
60		橋梁保全、舗装（修繕）
70		PC橋
80		共同溝等、トンネル
90		鋼橋架設、電線共同溝

※ 記載がない工種区分については、30日を最低限必要日数として工事内容に合わせて設定することを基本とする。

※ PC橋（トラッククレーン架設を除く）、トンネル、下水道、コンクリートダム、フィルダム等で、特に仮設備を要する期間が必要となる工種は、別途手続き・届け等の期間も含め算出する。

※ 鋼橋架設で鋼橋製作を含む工事は、別途考慮する。

※ 「建設工事における適切な工期設定等のためのガイドライン」、
「漁港・漁場工事の工期の設定に関するガイドライン」より

b 標準工期試算式等による設定

a によりがたい場合等は、国が定める標準工期試算式から工期を設定する。

(イ) 工事費の積算

・直接・間接工事費を以下のとおり補正する。

労務費	1.05 倍
機械経費（賃料）	1.04 倍
共通仮設費	1.04 倍
現場管理費	1.06 倍
市場単価	別表 1 のとおり

・漁港工事については、以下のとおり補正する。

労務費	1.05 倍
機械経費（賃料）	1.04 倍
共通仮設費	1.02 倍
現場管理費	1.03 倍
市場単価	別表 2 のとおり

・農業農村整備事業については、以下のとおり補正する。

労務費	1.05 倍
機械経費（賃料）	1.04 倍
共通仮設費	1.05 倍
現場管理費	1.07 倍
市場単価	別表 1 のとおり

(ウ) 条件の明示

特記仕様書に「週休 2 日制モデル工事（発注者指定型）」であることを明示する。（以下の 6 記載例のとおり）

②契約から工事完成まで

(ア) 工事看板の設置

受注者は、着手時には別図を参考に「週休 2 日制モデル工事」である旨を記載した看板を設置する。

(イ) 休日取得計画（実績）書の提出

受注者は、施工計画書の提出にあわせて、工事着手日から現場完了日までの休日取得計画を「別紙 1」に記載し、提出する。

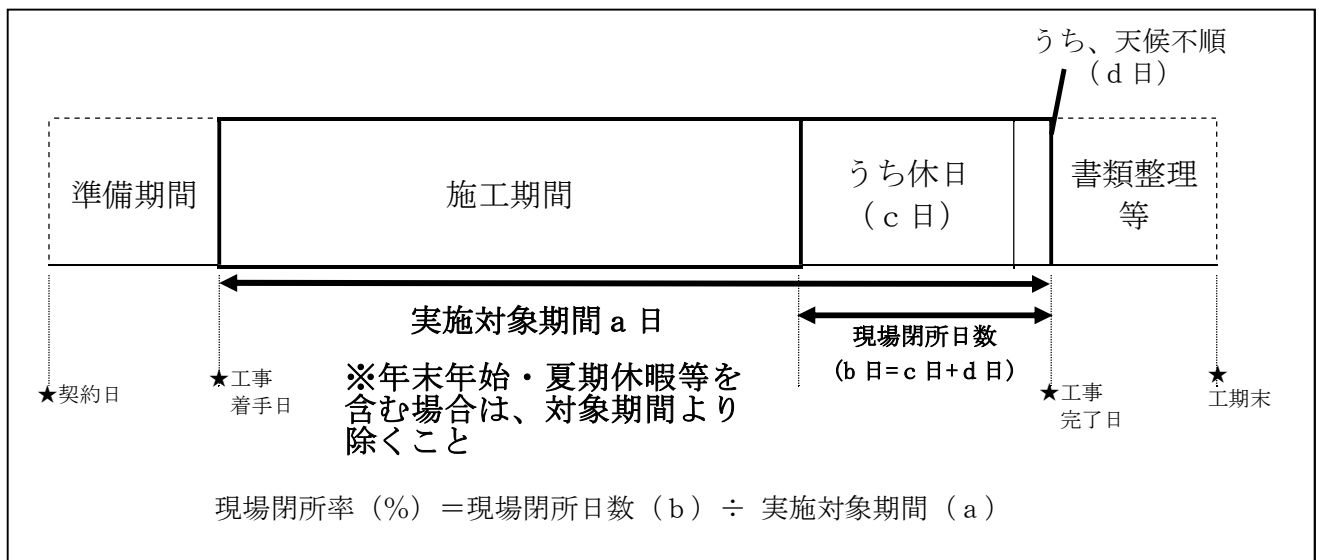
また、各月の履行報告にあわせて、休日取得実績を「別紙 1」に記載し、提出する。

なお、現場完成月については当月分の実績確定後、速やかに、休日取得実績を提出する。

受注者は、休日取得実績を提出する際、作業日報あるいは現場の休工を証明する記録簿等を監督員に提示する。

(ウ) 「現場閉所率」及び「土日完全週休 2 日」の確認方法

監督員は、休日取得実績に基づき、「現場閉所率」及び「土日完全週休 2 日」それぞれの実績を確認する。



(エ) 精算変更

4週8休（現場閉所率28.5%以上）が達成されなかった場合、監督員は以下のとおり減額変更を行う。

- ・直接・間接工事費を補正なしに変更する。

労務費	1.00 倍
機械経費（賃料）	1.00 倍
共通仮設費	1.00 倍
現場管理費	1.00 倍

③工事完成後

(ア) 工事成績評定

- ・土日完全週休2日を達成した場合
達成率が100%の場合、第2次評定者は、社会性で5点を加算する。
- ・4週8休を達成できなかった場合でも
減点しない。

(2) 受注者希望型の場合

①発注時

(ア) 条件の明示

特記仕様書に「週休2日制モデル工事（受注者希望型）」であることを明示する。（以下の6記載例のとおり）

②契約から工事完成まで

(ア) 工期の変更

受注者は、試行工事の実施を希望する場合、計画工事工程表等提出時、工事打合せ簿により協議を行う。

なお、週休2日制にかかる工期の変更はしない。（増工等による工期延長は通常どおり）

(イ) 工事看板の設置

発注者指定型と同様（5（1）②（ア）参照）

(ウ) 休日取得計画（実績）書の提出

発注者指定型と同様（5（1）②（イ）参照）

(エ) 「4週8休」及び「完全週休2日」の達成率確認

発注者指定型と同様（5（1）②（ウ）参照）

(オ) 精算変更

週休2日が達成された場合、以下のとおり増額変更を行う。

・直接・間接工事費を変更する。

労務費 1.05倍

機械経費（賃料） 1.04倍

共通仮設費 1.04倍

現場管理費 1.06倍

市場単価 別表1のとおり

・漁港工事については、以下のとおり変更する。

労務費 1.05倍

機械経費（賃料） 1.04倍

共通仮設費 1.02倍

現場管理費 1.03倍

市場単価 別表2のとおり

・農業農村整備事業については、以下のとおり変更する。

労務費 1.05倍

機械経費（賃料） 1.04倍

共通仮設費 1.05倍

現場管理費 1.07倍

市場単価 別表1のとおり

③ 工事完成後

(ア) 工事成績評定

発注者指定型と同様（5（1）③参照）

6 特記仕様書への記載例

(1) 発注者指定型の場合、特記仕様書には、次のとおり記載する。

第〇〇条 週休2日制モデル工事（発注者指定型）

1 本工事は、週休2日制の普及・実現に向けたモデル工事であり、週休2日に取り組むこととする。

2 工事の実施にあたっては、「週休2日制モデル工事」試行要領（令和5年4月1日 富山市）に基づくものとする。

(2) 受注者希望型の場合、特記仕様書には、次のとおり記載する。

第〇〇条 週休2日制モデル工事（受注者希望型）

1 本工事は、週休2日制の普及・実現に向けたモデル工事であり、受注者が週休2日に取り組むことを希望する場合、試行することができる。

2 工事の実施にあたっては、「週休2日制モデル工事」試行要領（令和5年4月1日 富山市）に基づくものとする。

7 試行工事における留意事項

- (1) 発注者は、緊急時等やむを得ない場合を除き受注者に対して休日中の作業が発生するような指示等を行わないこととする。
- (2) 監督員が、休日の取得状況に関する報告書及び資料の提示を求めた場合には、受注者はこれに協力するものとする。
- (3) 現場の条件変更等による工期変更は従来とおりの取り扱いとする。
- (4) 受注者は、必要に応じて試行に関する効果・課題の検証を行い、監督員を通じて工事検査課に報告するものとする。また、発注担当課及び工事検査課においても、必要に応じて効果・課題の検証を行うものとする。
- (5) 本要領に定めのない事項又は本要領に関して疑義が生じたときは、発注者と受注者で協議の上、これを定めるものとする。

附 則

この要領は、令和5年4月1日以降に公告又は指名通知を行う工事から適用する。

市場単価方式による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数（土木工事）

名称	区分	補正係数
鉄筋工		1.05
ガス圧接工		1.04
インターロッキングブロック工	設置	1.02
	撤去	1.05
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.01
	撤去	1.05
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.01
	撤去	1.05
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.04
	撤去	1.05
防護柵設置工（落石防護柵）		1.02
防護柵設置工（落石防止網）		1.03
道路標識設置工	設置	1.01
	撤去	1.04
道路付属物設置工	設置	1.02
	撤去	1.05
法面工		1.02
吹付砕工		1.03
鉄筋挿入工（ロックボルト工）		1.03
道路植栽工	設置	1.05
	撤去	1.05
公園植栽工		1.05
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.02
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.04
橋面防水工		1.02
薄層カラー舗装工		1.01
グルーピング工		1.01
軟弱地盤処理工		1.02
コンクリート表面処理工（ウォータージェット工）		1.01

市場単価方式による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数（下水道工事）

名称	区分	補正係数
硬質塩化ビニル管設置工		1.03
リブ付硬質塩化ビニル管設置工		1.03
砂基礎工	人力	1.05
	機械	1.05
碎石基礎工	人力	1.05
	機械	1.05
組立マンホール設置工		1.05
小型マンホール工		1.01
取付管およびます設置工	ます設置	1.01
	取付管布設	1.02
	支管取付	1.02

市場単価方式による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数（漁港工事）

名称	補正係数
底面工	1.04
マット工（アスファルトマット設置・ゴム系マット設置）	1.01
支保工	1.05
足場工	1.03
鉄筋工	1.05
吊鉄筋工	1.05
型枠工	1.04
コンクリート打設工（ポンプ車打設）	1.05
コンクリート打設工（ポンプ車打設以外）	1.05
止水板工	1.05
上蓋工	1.05
伸縮目地工	1.03
係船柱取付	1.05
防舷材取付	1.05
車止・縁金物取付	1.05
係船柱撤去	1.05
防舷材撤去	1.05
車止撤去	1.05
電気防食取付	1.05
防砂目地板取付工（陸上施工）	1.05
防砂目地板取付工（水中施工）	1.04
吸出し防止工（陸上施工・海上施工）	1.04
港湾構造物塗装工（係船柱・車止・縁金物）	1.04
ペトロラタム被覆	1.05
現場鋼材溶接・切断工（陸上施工・海上施工）	1.05
現場鋼材溶接・切断工（水中施工）	1.05
かき落とし工	1.05
汚濁防止膜設置・撤去・移設	1.04
汚濁防止枠設置・撤去	1.03
灯浮標設置・撤去	1.04
汚濁防止膜保守管理（海上目視点検作業船あり、水中目視点検）	1.01
汚濁防止膜保守管理（海上目視点検作業船なし）	1.05
異形ブロック製作 型枠工	1.05
異形ブロック製作 コンクリート打設工	1.05

【別紙1】休日取得計画(実績)書

工事名 ●●工事		契約工期															対象期間 工事着手日																
		~															~															工事完了日	
年	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
2023年	曜日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
3月	計画																																
3月	実施																																
4月	計画	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		
4月	実施																																
5月	計画	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
5月	実施																																
6月	計画	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金		
6月	実施																																
7月	計画	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
7月	実施																																
8月	計画	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	夏	夏	夏	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
8月	実施																																
9月	計画	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		
9月	実施																																
10月	計画	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
10月	実施																																
11月	計画	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木		
11月	実施																																
12月	計画	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	年	年	年	
12月	実施																																
2024年	曜日	年	年	年	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
1月	計画																																
1月	実施																																
2月	計画	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木			
2月	実施																																
3月	計画	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
3月	実施																																

【凡例】 ■:作業日 休:休工期 (空白):対象外期間

計画時チェック 現場閉所率(%) = 現場閉所日数/週休2日確認対象期間
 = 0日/0日
 = #DIV/0! → #DIV/0! ... #DIV/0!

実施時チェック 現場閉所率(%) = 現場閉所日数/週休2日確認対象期間
 = 0日/0日
 = →

[土日完全週休2日]
 土日完全週休2日達成状況
達成or未達成 ※手動で入力